

「施策」総括票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成
施策	②都市、道路、郊外及び農山村の緑化	
	66頁	
対応する 主な課題	<p>○森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。</p> <p>○沖縄らしい熱帯・亜熱帯性の花木等を活用し、市街地や観光地をはじめ、その地域にふさわしい緑地の創出が必要である。</p> <p>○主要な道路及び観光地へのアクセス道路等の沿道空間において、道路緑化及び植栽管理強化による沖縄らしい風景の創出・沿道等の周辺環境に配慮したアメニティ空間の創出が求められている。</p> <p>○郊外部では、良好な自然環境、営農環境と調和を図りながら集落景観の保全など魅力的な田園農住地域の整備を行う必要がある。</p>	
関係部等	農林水産部、土木建築部	

I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
主な取組		決算見込額	推進状況	活動概要
○風致地区の指定				
1	市町村緑化推進支援事業	—	順調	○県内市町村と緑化施策について意見交換を行い、「緑の基本計画」策定(平成25年3月)及び風致地区指定に向けた取組を促進した。(1)
○都市公園の整備				
2	都市公園における緑化等の推進	4,209,905	やや遅れ	○環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けて、用地買収、園路、広場、休養施設等の公園施設を整備したが、用地取得・補償等が遅れていることもありやや遅れとなった。(2)
○道路の緑化				
3	観光地アクセス道路の重点的緑化事業	145,000	順調	○国際通り等の飾花候補箇所を抽出し、箇所別に飾花方法を検討した。また、一年を通して花いっぱい空間を確保する年間計画を作成した。(3)

様式2(施策)

4	主要道路における沿道空間の緑化事業	—	未着手	○道路管理においては必要最低限の除草等を優先したことにより、街路樹の適正管理を目的とした当該取組が未着手となった。(4)
○郊外及び農山村等の緑化				
5	県民の森管理事業費	1,451	順調	○県民の森、平和創造の森公園において、イオン琉球など民間企業とクメノサクラ等を植栽や草花の植樹に取り組んだ。(5)、(6)
6	森林公園管理事業費	2,442	順調	

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

1	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	都市計画区域内緑地面積	65,155ha (18年度)	65,155ha (18年度)	現状維持	—	—
	状況説明	平成24年度に北谷町が緑の基本計画を策定。平成25年度において、未策定市町村に対し、緑の基本計画並びに風致地区指定等地域性緑地制度の策定を促すことで、都市計画区域内における緑地の確保につなげる。				
2	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	都市計画区域における一人当たりの都市公園面積	10.6㎡/人 (22年度)	10.7㎡/人 (23年度)	13.0㎡/人	0.1㎡/人	9.9㎡/人 (23年度)
	状況説明	早期の公園事業用地取得に努め、事業を推進しているところであるが、地権者等の協力が得られないこと等により、計画的な事業進捗が図れないため、目標達成に向けては課題がある。				
3	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	主要道路における緑化延長	0km (23年)	0km (24年)	280km	0km	—
	状況説明	主要道路における沿道空間の緑化事業がソフト交付金を活用する事業に採択されなかったため、平成24年度は事業未着手となった。県単独費の維持管理費での対応を検討していく必要がある。				

様式2(施策)

(2)参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
	13市町村 (H22年)	14市町村 (H23年)	15市町村 (H24年)		
緑の基本計画策定市町村数				↗	—

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

○風致地区の指定

- ・「緑の基本計画」は、市町村が緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを定める基本計画であり、平成25年3月末で7市町村が計画未策定であることから、未策定市町村に対し、計画策定について理解を求める必要がある。
- ・風致地区は、都市において水や緑などの自然的な要素に富んだ土地における良好な自然的景観を維持するために定められる地域地区であり、各市町村に対し、風致地区指定について理解を求める必要がある。

○都市公園の整備

- ・公園整備は公園用地を確保しなければ実施できないが、用地取得や物件補償等が墳墓等のため計画どおりに進捗しておらず、効率的かつ効果的な公園整備ができない状況である。

○道路の緑化

- ・観光地アクセス道路の緑化は、観光地周辺における沖縄らしさの創出のため、1年を通して開花を継続させる取組が求められていることから、花の生育・開花の状況を継続して確認する必要がある。
- ・主要道路における沿道空間の緑化事業については、必要最低限の除草等の維持管理を優先する必要がある、街路樹の適正管理を目的とした当該事業への予算配分が困難な状況である。

○郊外及び農山村等の緑化

- ・県民の森及び平和創造の森公園の緑化推進及び利用促進のための施設整備及び維持管理に係る経費が限られているため、企業と協働した緑化活動など低コストによる公園内の緑化、施設整備及び維持管理の方法を構築する必要がある。

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

○風致地区の指定

- ・沖縄県で指定されている風致地区は、基本的に市街地及びその縁辺部に位置し、都市の自然環境を保全する上で重要な役割を果たしてきた。しかし、各風致地区の地区特性は多様であることから、風致の維持・創出については地域の実情に応じたきめ細かな対応を講じる必要がある。

○道路の緑化

- ・日照や潮風等、飾花箇所環境条件を考慮した花種の選定が必要である。

V 施策の推進戦略案 (Action)

○風致地区の指定

・県内各市町村と緑化施策について意見交換を行い、「緑の基本計画」の策定及び風致地区の指定など、良好な自然環境等の保全を図る地域制緑地の指定に向けた取組を促進する。

○都市公園の整備

・都市公園における緑化等の推進については、公園用地取得に向け、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、地元自治会や関係者等の協力を得ながら推進していく。

○道路の緑化

・観光地アクセス道路の緑化において、定期的なパトロール等により生育・開花の状況を継続的に確認するとともに、飾花箇所環境条件に応じた適切な花種を選定するなどの改善を行う。

・主要道路における沿道空間の緑化事業については、適正管理の推進により良好な沿道空間を創出する必要があることから、沖縄振興特別推進交付金での事業化や県単独費である維持管理費も含め所要の予算の確保に努める。

○郊外及び農山村等の緑化

・県民の森、平和創造の森においては、企業と協働による緑化活動等ボランティアを活用するとともに管理コストの低い花木を選定する。